

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公表番号】特表2012-531411(P2012-531411A)

【公表日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2012-517509(P2012-517509)

【国際特許分類】

A 61 K 31/355 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

【F I】

A 61 K 31/355

A 61 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

広汎性発達障害(PDD)の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害(PDD)に関連する症状を軽減するか、または、広汎性発達障害(PDD)を処置もしくは抑制するための組成物であって、治療有効量または生理的有効量のトコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む、組成物。

【請求項2】

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害(CDD)、レット障害、および特定不能のPDD(PDD-NOS)に関連する症状を示す、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記組成物が、-トコトリエノール、-トコトリエノール、-トコトリエノール、-トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記組成物が、治療有効量の-トコトリエノールを含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記組成物が、酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシル化トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

前記組成物が、酢酸-トコトリエノール、コハク酸-トコトリエノール、リン酸-トコトリエノール、アスパラギン酸-トコトリエノール、グルタミン酸-トコトリエノール、パルミチン酸-トコトリエノール、ニコチン酸-トコトリエノール、およびポリエトキシル化-トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の

作用物質を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

広汎性発達障害（PDD）の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害（PDD）に関連する症状を軽減するための医療食品または食事食品であって、トコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物を含む、医療食品または食事食品。

【請求項 9】

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害（CDD）、レット障害、および特定不能のPDD（PDD-NOS）に関連する症状を示す、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 10】

- トコトリエノール、- トコトリエノール、- トコトリエノール、- トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 11】

治療有効量の - トコトリエノールを含むものである、請求項 10 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 12】

酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシル化トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 13】

酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシル化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、請求項 12 に記載の医療食品または食事食品。

【請求項 14】

治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含むものである、請求項 8 に記載の医療食品または食事食品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

他の態様では、たとえば、ASD障害の個体を処置する、または個体のASD障害を抑制するなど、本明細書に記載の方法のいずれかのためにキットを使用してもよい。

本発明は、例えは以下の項目を提供する。

(項目1)

広汎性発達障害（PDD）の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害（PDD）に関連する症状を軽減するか、または、広汎性発達障害（PDD）を処置もしくは抑制する方法であって、トコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエ

ーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物を投与する工程を含む、方法。

(項目2)

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害(CDD)、レット障害、および特定不能のPDD(PDD-NOS)に関連する症状を示す、項目1に記載の方法。

(項目3)

前記組成物が、-トコトリエノール、-トコトリエノール、-トコトリエノール、-トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目1に記載の方法。

(項目4)

前記組成物が、治療有効量の-トコトリエノールを含む、項目3に記載の方法。

(項目5)

前記組成物が、酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシル化トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目1に記載の方法。

(項目6)

前記組成物が、酢酸-トコトリエノール、コハク酸-トコトリエノール、リン酸-トコトリエノール、アスパラギン酸-トコトリエノール、グルタミン酸-トコトリエノール、パルミチン酸-トコトリエノール、ニコチン酸-トコトリエノール、およびポリエトキシル化-トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目5に記載の方法。

(項目7)

前記組成物が、治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含む、項目1に記載の方法。

(項目8)

広汎性発達障害(PDD)の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害(PDD)に関連する症状を軽減するための医療食品または食事食品であって、トコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物を含む、医療食品または食事食品。

(項目9)

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害(CDD)、レット障害、および特定不能のPDD(PDD-NOS)に関連する症状を示す、項目8に記載の医療食品または食事食品。

(項目10)

-トコトリエノール、-トコトリエノール、-トコトリエノール、-トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、項目8に記載の医療食品または食事食品。

(項目11)

治療有効量の-トコトリエノールを含むものである、項目10に記載の医療食品または食事食品。

(項目12)

酢酸トコトリエノール、コハク酸トコトリエノール、リン酸トコトリエノール、アスパラギン酸トコトリエノール、グルタミン酸トコトリエノール、パルミチン酸トコトリエノール、ニコチン酸トコトリエノール、およびポリエトキシル化トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、項目8に記載の医療食品または食事食品。

(項目13)

酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシル化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含むものである、項目12に記載の医療食品または食事食品。

(項目14)

治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含むものである、項目8に記載の医療食品または食事食品。

(項目15)

広汎性発達障害（PDD）の処置を必要とする患者において、広汎性発達障害（PDD）に関連する症状を軽減するため、または、広汎性発達障害（PDD）を処置もしくは抑制するためのトコトリエノール、トコトリエノールエステル、トコトリエノールエーテル、トコトリエノール濃縮抽出物、またはこれらの混合物を含む治療有効量または生理的有効量の組成物の使用。

(項目16)

前記処置を必要とする前記患者が、自閉症、アスペルガー障害、小児期崩壊性障害（CDD）、レット障害、および特定不能のPDD（PDD-NOS）に関連する症状を示す、項目15に記載の使用。

(項目17)

前記組成物が、 - トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノール、 - トコトリエノールおよびこれらの混合物からなる群より選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目15に記載の使用。

(項目18)

前記組成物が、治療有効量の - トコトリエノールを含む、項目17に記載の使用。

(項目19)

前記組成物が、酢酸 - トコトリエノール、コハク酸 - トコトリエノール、リン酸 - トコトリエノール、アスパラギン酸 - トコトリエノール、グルタミン酸 - トコトリエノール、パルミチン酸 - トコトリエノール、ニコチン酸 - トコトリエノール、およびポリエトキシル化 - トコトリエノールから選択される治療有効量の1つまたは複数の作用物質を含む、項目15に記載の使用。

(項目20)

前記組成物が、治療有効量のトコトリエノール濃縮抽出物を含む、項目15に記載の使用。